-------6月9日-------

※ 今週のアウトルック（6/9～6/13）

先週は前半から円安が進みました。後半に入り、ECB総裁の発言や米国雇用統計の結果に影響されながらも、全体としては円安傾向を維持しながら週末を迎えています。

今週はやや材料出尽くし感はあるものの、このまま円安トレンドを継続できるのか、それとも再び方向感を見出し難い展開となってしまうのか、
週前半の動きが鍵となりそうです。

先週のドル円は、月曜日に一気に102円付近のレジスタンスを突破した後、
米国雇用統計の好結果を受けても、102円台中盤を維持しながら、
週末を迎えています。

今後は金利動向を見ながらの展開となりそうですが、
103円を超えた円安に向かうには、まだ時間がかかるように思います。

ドル円の予想レンジは101.5円から103円です。

先週ユーロは、ECB総裁の量的緩和示唆、マイナス金利導入発言を受けて、
大きく揺れました。

今週もこれらの影響について、判断が難しい部分がまだ残るように思います。
方向感が掴みづらい動きが続いた後、今週いっぱいは膠着感が強い動きになるのではないかと考えています。

ユーロ円の予想レンジは139円から141円です。

ポンド円は、状況的には173円のレジスタンスを一気に飛び越えそうな
勢いですが、今週はまだ難しいのではないかと考えています。

ポンド円の予想レンジは170円から173円です。

今週は米国雇用統計発表の影響が、週初は残りそうですが、
後半は、何かキッカケになるイベントを求めて、
材料探しの展開になるかもしれません。

＊免責事項＊
当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。